

6月広報市民向けメッセージ

皆さんこんにちは。木更津市長の渡辺です。

今年も早いもので6月に入りました。気温の変化や湿度の高さで体調を崩しやすいシーズンとなりますので、新型コロナウイルスの感染防止と併せて、食中毒などにも十分気を付けていただきたいと思います。

さて、今月は、広報6月号の3ページに掲載している市制施行80周年記念事業のひとつ、「きさらぶコレクション」について、お話ししたいと思います。

まず、「きさらぶコレクション」とは何かと言いますと、「未来の木更津に残したいもの」をテーマに子どもたちが参加できるファッションショーです。

子どもたちから「モデル」「MC」「デザイン案」を募集し、そのデザイン案をもとに、市内木更津東高校の生徒さんの協力を得て、モデル、MCにあわせて衣装をデザイン・作成していただきます。

通常のファッションショーでは、洗練された衣装に目がいきがちですが、今回の主役は、「衣装」ではなく、「モデルとなる子どもたち」が主役となります。

そして、衣装づくりを含めたショー全体をプロデュースしていただくのは、ファッションの世界において共生社会を目指し、地元木更津に拠点を構え、活躍をされている「テンボデザイン事務所」代表の鶴田さんです。

現在、木更津市は、年齢や国籍、性別、障がいの有無を問わず、誰もが幸せに暮らせる共生社会の実現を目指して、様々な取組を進めているところです。

「きさらぶコレクション」は、そうした取組の一環として、未来を担う子どもたちに夢や希望を与える機会とするとともに、ふるさと木更津に愛着を持っていただくこと、そして、共生社会の実現を願って開催したいと考えています。

ご視聴いただいている皆さんの中にも、昨年、木更津市内の清見台小学校が国際パラリンピック委員会主催の「I'm Possible アワード」最優秀賞を受賞し、東京パラリンピックの閉会式で表彰されたことをご存知の方もいらっしゃるかと思います。

共生社会実現につながるパラリンピック教育に取り組み、校内や自分たちの住む地域のバリアフリーや誰もが暮らしやすい社会について、深く考え、行動したことが高く評価されました。

私達は、こうした取組が、一過性のものとなるのではなく、地域から、まち全体へと広がっていき、差別や偏見のない社会を実現させていきたいと考えています。

今回のファッションショーも、子どもたちを中心に多くの人に関わる中で、多様性を受け入れ、誰もが心豊かに暮らすことができる「オーガニックなまちづくり」への理解を深める、そんなイベントになるよう準備を進めてまいりたいと思います。

つきましては、モデルやMC、デザイン案を、6月5日の日曜日まで募集しておりますので、多くの皆様のご協力をお願いしたいと思います。詳細は市ホームページをご覧ください。学校教育課までご連絡をお願いいたします。

続いて、6月号の表紙に特集されている、木更津市出身の靴磨き職人、長谷川^{ゆうや}裕也さんについてお話ししたいと思います。

長谷川さんは、高校卒業後、仕事に就いたものの働き過ぎて体調を崩し、退職。無職となったハタチのときに、東京駅丸の内の路上で、靴磨きを始めました。

その後、2008年に南青山に靴磨き専門店「ブリフト アッシュ」をオープン。2017年には、ロンドンで開催された靴磨き世界大会に出場し、見事優勝。初代王者に輝きました。

現在も靴磨き職人として、第一線で活躍し、「新しく、かっこよく、価値を作る。」をモットー

に、新たな価値の創造に取り組んでおられます。

長谷川さんのこれまでの活躍や発言する言葉のひとつひとは、とても胸に響いてくるものがありますし、実際に実行してきた長谷川さんだからこそ、その言葉に重みを感じることができます。皆さんも、自分の可能性を広げながら、前に進んでいただければと思っています。

市としても、誰もが、いろいろなことにチャレンジできるまち、また、それを応援できるまちに、皆さんとともにしていきたいと思っています。

以上、今月の広報の内容についてお話させていただきました。

来月も皆さんの役に立つ記事、興味を持っていただけるような記事を掲載してまいりたいと思いますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

それでは、今月もどうぞよろしくお願いいたします。